

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 総務-17 検査事務						
主管課	契約検査課	関連課	工事担当課等				
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	鎌倉市が発注する工事及び工事に附属する委託業務の品質の向上を図ると共に、経済的かつ高品質な工事目的物等の引渡しを受けるため、関連事項の調整業務を行っていく。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	152	159	169			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	152	159	169			
	人員配置数	2.0	3.2	3.2			
	人件費(千円)	16,048	27,321	27,357			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	16,200	27,480	27,526			
	市民1人当りの経費(円)	91	155	155			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
検査事務	152千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	工事目的物が設計図書等に定められた出来形や品質等を満足しているか、受ける給付の完了の確認を行うとともに、検査時の指導を通じて、工事等の適正な施工の確保と技術水準の向上を図った。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	協定等に基づく委託費の給付の確認のための監督・検査は事業担当課が行っているが、契約検査課の関与が求められている。		
課題解決のための取組	工事監理は工事請負費における工事監理に準じ、検査にあたっては、契約検査課検査職員が立ち会った。	取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	工事請負費以外の費目で実施される委託事業者との協定に基づく委託工事の給付の確認のための監督及び検査の体制を整備する必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※ <input type="checkbox"/> 事業完了
		②妥当性 ○		公共工事及び工事に附属する委託の品質確保に向け、国・県・市町村と連携した取組を行う。	課長等名 ↓ B 担当課長 永田直樹
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

